



小樽市立朝里中学校～学校教育目標「自律・承認・創造」～

コミュニティ・スクールだより

～地域とともにある学校づくりを目指して～

第11号 令和3年3月24日 発行

より、地域密着型の学校をめざして 2

3月18日に学校運営協議会が開催されました。前回に引き続き、朝里中学校が、より地域とのつながりを深めるためにどのようにしたらよいのかを話し合いました。

- ・中学生と地域住民と協力してハザードマップ作成
- ・中学校を拠点として、地域防災訓練や清掃活動を一緒に行う
- ・朝里地区の「その道の達人」などに語ってもらう
- ・朝里地区で職場体験をしたい。(農業 漁業 観光 飲食 医療 製造など)
- ・地震は少なくとも、台風大雨の被害は心配。台風防災訓練をやってはどうか。



など、たくさんのアイデアが出されました。

ただ、これらは「手段」に過ぎません。我々が目指しているもの(「目的」)は、地域の幅広い年齢層の住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。まだまだ試行錯誤は続きますが、次年度、何らかの行動に移そうとは考えています。

地域の方と中学生がつながることで、朝里中学校のよさをもっともっと発信したいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

他地区のコミュニティ・スクールに学ぶ

○3月18日

よつなやぎ ちかこ

ゲスト講師 四柳 千夏子氏(みたか SC サポートネット代表理事・文部科学省 CS マイスター)

年度最終回の学校運営協議会では、東京都三鷹市と朝里中をオンラインでつなぎ、三鷹市のコミュニティ・スクールの取組、地域の方々の参画状況などをお話いただきました。

三鷹といえば、コミュニティ・スクールの総本山のような土地ですが、発足当時も、そして今でもうまくいかない課題があり、ひとつひとつ解決に向けて合意形成し、取り組んでいく話をお聞きました。

「会議より熟議」誰かの意向に添うように、じっとして

(わきまえて)いる会議より、参加者全員が意見を付箋に書いて、話し合う「熟議」のほうが、実効性があり、参加者の充実感、実際に活動する場合の機動力の高まりが圧倒的に高いようです。

朝里中学校学校運営協議会の委員からも多くの質問や意見が出され、今後の方向性を考えるため、よい刺激を得ることができました。ありがとうございました。



導入初年度の1年間を振り返って

朝里中のコミュニティースクール

「みんなで」、「できるときにできる人がやる」をモチーフに導入したコミュニティ・スクール制度。「そもそも何をやるの？」から始まった話し合い。形として残せたものは「リユースプラザあさり」（11月実施）でしたが、今後も試行錯誤を繰り返しながら、「朝里の子供たちのために」を考えながら、様々なことに取り組んでいきます。種をまいてから芽が出るまでにはしばらくかかりますが、数年後にはきっときれいな花を咲かせることでしょう。

地域の皆様方も「朝里の子供を朝里地域で育てる」の考えのもと、お力添えをいただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。



学校運営協議会は、ほぼ月1回のペースで開催。2回ほど、オンラインを活用して実施しました。

「まだ使える中学校の思い出の品を誰かの愛用品に」をコンセプトに、地域の皆様方に提供していただいた学用品などを譲渡する「リユースプラザあさり」を開催。50名を超える参加者がありました。



次回の学校運営協議会

4月22日（木）18:00～

朝里中学校 学校図書館にて



新年度の入学式については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、来賓の皆様、地域の皆様のご来場はご遠慮いただいています。

募集中！ ガーデニングをお願いします

校門付近の花壇と中庭の花壇に花やハーブを植え、世話をしてくださる方々を募集しています。いつでも、誰でも結構です。興味のある方はお気軽にお声がけください。